

2023 年 1 月 13 日

2022 年度第 4 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2022 年度第 4 四半期決算を発表しました。

第 4 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は 71 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.81 ドル)となりました。
- 当期純利益は、2021 年度第 4 四半期における 70 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.82 ドル)に対し、71 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.85 ドル)となりました。
- 税引前利益は 1%増加して 79 億ドルとなりました。これは、2021 年度第 4 四半期における引当金の取崩しに対し、引当金の積増しによる影響を受けています。
- 収益(支払利息控除後)は、11%増加して 245 億ドルとなりました。
- 貸倒引当金繰入額は、16 億ドル増加して 11 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、812 百万ドル(6%)増加して 155 億ドルとなりました。これは、人材及び技術のフランチャイズへの投資によるものでしたが、収益関連のインセンティブ報酬の減少により一部減殺されました。営業レバレッジは 6%、営業効率は 63%となりました。
- 平均貸出金及びリース金融残高は、商業貸出金の大幅な増加及びクレジットカード残高の増加により、940 億ドル(10%)増加して 1.0 兆ドルとなりました。
- 平均預金残高は、920 億ドル(5%)減少して 1.9 兆ドルとなりました。期末残高は、2022 年度第 3 四半期と比較してほぼ横ばいでした。
- 平均グローバル流動性は、8,680 億ドルとなりました。
- 普通株式等ティア 1(CET1)比率は、2022 年度第 3 四半期から 25 ベーシス・ポイント上昇し、11.2%(標準的アプローチ)となりました。普通株式配当及び株式の買戻しにより、2022 年度において株主に対して 120 億ドルを還元しました。
- 平均普通株主持分利益率は、11.2%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、15.8%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。